



1年生の学級活動
につながる学びは
ないだろうか？

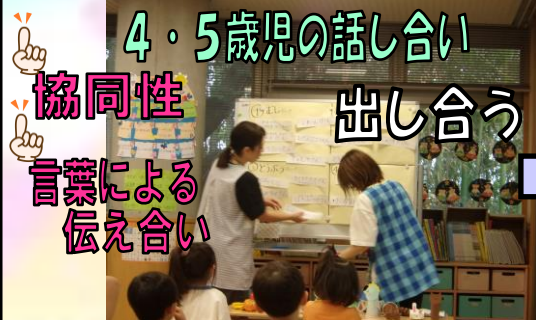
学びをつなぐ ～園での話し合い活動を学級活動へ～

先月の幼保小連携研修での協議の中で、園でも話し合い活動を行っていることを聞いた新磯小1学年担任。特別活動担当として、学級活動に園での学びを活かすことはできないかと、連携園の一つであるせんだん保育園へ行き、話し合い活動の様子を参観しました。



「さがみはらんど」のお店を決めよう

※「保育月間さがみはらんど」は、市内認可保育所・認定こども園・陽光園で毎年11月に行われている、地域の方々に遊びに来ていただく企画。



「さがみはらんどでやりたいお店は？」

年長児が決めた運動会のテーマ『森』に合わせて制作する飾りは、虫・花・動物・フルーツ。運動会後の「さがみはらんど」でこれらを使ってできるお店を考えます。動物園・お花屋さん・ジュース屋さん・おみくじ・果物狩り…子どもたちから19ものお店案が出ました。



「虫・花・動物・フルーツを使ってできそうなお店は？」

「虫はハチミツ屋さん。ハチが蜜を持ってくる！」「動物園に虫もいるから動物グループに入れるといいね。」「いいじゃーん！」など、お店の案をみんなで4つのグループに分けました。
「どのお店にする？」

各グループで、やりたいお店の内容について話し合いました。「どう思う？」「これ切ったらどうなる？」…先生が意見を引き出す・つなぐ声かけをしながら、お店を決め、やり方を考えました。



各グループの代表が結果を全体に発表しました。話し合いの中で、園児らしい新たなアイデアが加わり、4つの素敵なお店が発表されました。友達や先生から拍手をもらい、嬉しそうな、得意な表情の代表者たちでした。

思いを実現し、豊かな学級や学校生活をつくる学級活動（1）は、話し合い、集団として合意形成を図り、協力して実践する自発的・自治的活動です。先生方に支援されながら、自分の思いを伝えること、みんなに認められること、自分たちが決めたことを実現させることを経験している園児たち。この学びをつなげ、小学校では望ましい集団における活動の実践に向けた合意形成の話し合いができるよう、「折り合いをつけて集団決定する力」を育てていきたいですね。